

## 読売新聞 きょう（4月30日）のイチ押し

### 1面・社会面・特別面 知床観光船事故1週間 船体発見

北海道・知床半島沖で乗客乗員26人を乗せたまま消息をたった観光船が、遭難現場付近の水深120メートルの海底で見つかりました。30日で事故から1週間。これまでに14人の死亡が確認され、第一管区海上保安本部は、行方不明者12人の捜索を続けます。

- ★ 船体が見つかったのは、「カシュニの滝」から西北西約1キロの海底。海上自衛隊が水中カメラで調べたところ、船体を発見。側面に書かれた船名から特定しました。
- ★ 船内には行方不明者が取り残されている可能性があります。しかし、発見現場は、海保の潜水士が作業できる限界の60メートルを大きく超えており、潜水での捜索は困難とみられます。
- ★ 船体を引き上げるにしても、船の状態や周辺の地形を確認する必要がある上、船体が壊れている場合は、引き揚げ前に船体の補強作業が必要になり、相当時間がかかりそうです。

### 解説面 完全試合のロッテ・佐々木投手 目先よりも成長後押し

史上最年少での完全試合を達成したプロ野球・千葉ロッテマリーンズの佐々木朗希投手。目先の結果よりも将来性を重んじる指導者らによる無理をさせない育成が、その才能を開花させました。高3の夏、連投を避けるために決勝で登板せず、チームは敗退しました。ドラフトで獲得したロッテも1年目は試合で一切投げさせずに体作りを優先。2年目の昨季も間隔を長く空けて登板させました。今季も完全試合達成の次の試合でパーフェクトピッチングをしていた8回で降板させ、5度目の先発を務めた翌日には登録を抹消して休ませました。若い世代の育て方は他競技でも課題になっており、佐々木投手の育成方法は参考になりそうです。

#### 他紙と比べて

沖縄は5月15日、本土復帰から50年の節目を迎えます。経緯やその後の歩み、課題などを紹介する特集「基礎からわかる 沖縄復帰50年」の最終回「文化・芸能」編が6面に掲載されています。これまでに「安全保障」「日米返還交渉」「経済」の各テーマで紹介してきました。読み忘れていても読売新聞オンラインの沖縄復帰50年特設ページですべて読めます。オンライン登録をお忘れなく。